http://www.minamih.net/
１５・　５・　９（土）
南ＮＥＷＳ　　ＮＯ１０

６年生が全日本予選前期Ｕ－１２リーグ５ブロック（９チームで）見事優勝しました。

４年生の時は全然勝てなかった６年生でしたが，土･日の練習や午後練にも一生懸命取り組む中で個の力をつけ，チーム力を向上させました。

大澤君・小松君・坂本君・豊嶋君･大久保君･井上君・松林君達は午後練にいつも参加しています。米倉君は習字の習いごとが終わった後必ず参加しています。

努力は裏切りません。午後練に参加できない古積君は自主練習に取り組み，素晴らしい力を発揮しています。

連休中のリーグ戦の終盤，メンバーが揃わず，調子を落とし１敗しましたが６勝１敗１分けの成績での優勝です。全日本ブロック予選最終戦トーナメントへ駒を進めることができました。どの学年も続いてほしいです。

ｂｙ南のアンパンマン

第39回春季カップ４年生の結果　４月２６日　文化大Ｇ

■第一試合　南八王子　1-2　南大沢　（前半：0-2）得点：茂松君
○チームのめあて：チャレンジ＆カバー、あきらめない、ポジションを考える、フォローする、マークする、びびらない

第一DFと第二DFで連携して守る意識が高まってきました。お互いの距離が近くなり、こぼれ球を拾えるようになってきました。前半は服部君が右サイド深くへドリブルで侵入する場面もありましたが、攻撃が単発で続きません。

後半、中村一護君が浮いたルーズボールを体で運び左サイドからシュートするもポスト左に外れます。全員が高い位置で数的優位の状態を作れるようになり、攻撃が続く場面もありました。得点は、団子ドリブルで相手陣内へ攻め込み、ボールを取られても取り返しながらゴールエリア右から左へ団子のまま流れ、茂松君が左足で押し込んだ南らしい形でした。

尾川君が相手陣内でボールへチャレンジして奪い、左サイドの服部君へつなぐ形はこれまでにない攻撃でした。

GK名嘉君は、決定的な場面でシュートコース正面へ素早く入って、何度もピンチを救いました。

■第二試合　南八王子　0-4　ARTE片倉　（前半：0-4）
○チームのめあて：味方の攻撃のときは団子サッカーでいく、声を出す、フリーを見つける、一発で行かない

前半に左サイドで相手をフリーにしてしまい、簡単にゴール前へ侵入され立て続けに失点してしまいました。GKとバックの声かけがなく、ゴールエリア手前でお見合いになっての失点もありました。

後半は田上君をはじめ、全員がよく注意してフリーの選手を作らず無失点に抑えました。一人が抜かれても次々と選手がカバーするすばらしい守備ができました。

■今日の二試合を振り返って

ハトマークでの大敗の後、このときの相手に勝てるようがんばろうとみんなでひとつのめあてを持ちました。清水コーチから仲間を大事にして練習をがんばる大切さをお話いただいたり、染谷コーチにボールをこわがらないで体で運ぶ練習をしていただいたりしましたね。試合の日には矢上代表や小松コーチに相手を囲い込む守り方、攻撃のときは二人残して上がることなどたくさん教えていただきました。

そうした練習や学んだことを活かし、これまでの中でもとても「戦った」試合になりました。とくに2試合目の後半はがんばっていて、このチームがこれから強くなっていくきっかけになると期待しています。

中西コーチも試合後に4年生はがんばっていたね、とほめてくださっていましたよ。

試合後に隅田君が自主的にトイレを水で流してブラシで掃除してくれたのもすばらしかったです。

第39回春季カップ４年生　４月２９日　横川小

■第一試合　南八王子　0-5　大和田SC　（前半：0-2）
○チームのめあて：相手をみる

ゴールキックやコーナーキックでなかなか相手より先にボールに触れませんでした。浮き球をバウンドするまで待ってしまいました。ボールを怖がって、上半身をのけぞらせるような姿勢では自分たちのボールになりません。

失点のほとんどはサイドからクロスを上げられ、中の人数が足りずにフリーでシュートを打たせてしまったものです。

相手にパスで振り回されながらもGK名嘉君が何度も体を張ってよく守りました。後半、自陣右サイドで尾川君がものすごい勢いで相手を追いかけ、しっかり体を当てて守った場面は光っていました。

■今日の試合を振り返って

選手たちの反省として、相手をフリーにしていた、キーパーまかせにしていたということがあげられました。守るときにまだまだ足だけで出して一発で何度もかわされていたことも、みんなが共通して気づいたことです。

（相手に）詰められなかった、ドリブルのスピードが遅いという反省もありました。

春季カップ3試合は全部負けてしまいましたが、ハトマークと比べて選手たちはよく戦い、これまでできていなかったチャレンジ＆カバーもできるようになってきました。この試合を通じて、何が課題なのか自分たちの中ではっきり意識できたのは収穫だと思います。

谷口コーチに教えていただいたボールキープでの体の使い方や、相手にサイドチェンジされたときにスライドすることもGANBAノートに書いて身につけていきましょう。

大和田戦の後、悔しくてずっと泣いている選手がいました。平山戦の後の練習で、このままでは一年後も勝てないという選手もいました。みんな悔しい気持ちやがんばろうという気持ちがあると思います。でも泣いている選手に声をかける人はいませんでした。励まし合ったり、良いプレーにナイス！と声をかけていくことで、もっとこのチームは強くなります。夏の合宿までのめあてに向けてがんばりましょう！

ｂｙ中村コーチ